

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) マックスバリュ西日本株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3-52広島段原ショッピングセンター5階	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	食品スーパーマーケット、ディスカウントストアの経営				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	マックスバリュイオンタウン水島店		岡山県倉敷市水島高砂町3番35号	
	②	マルナカ新倉敷店		岡山県倉敷市玉島爪崎981-1	
	③	マルナカマスカット店		岡山県倉敷市松島1154-2	
	④	マルナカ山陽店		岡山県赤磐市下市133	
	⑤	マルナカ高屋店		岡山県岡山市中区高屋36-1	
⑥	マルナカ中島店		岡山県倉敷市中島2780-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 65 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和4)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	74,059 t CO ₂	58,904 t CO ₂	70,430 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和4)年度排出量
	①	マックスバリュイオンタウン水島店	2,026 t CO ₂
	②	マルナカ新倉敷店	1,937 t CO ₂
	③	マルナカマスカット店	1,985 t CO ₂
	④	マルナカ山陽店	1,524 t CO ₂
	⑤	マルナカ高屋店	1,494 t CO ₂
⑥	マルナカ中島店	1,255 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	20.5 %	4.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
			基準年度	(4)年度	目標年度
			CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和4年度)	達成率等
指標の状況	食料品スーパー業	0.799 以下	0.917	87.1%

【削減状況の自己評価】

令和4年度は岡山総合プロセスセンター開設に伴い前年に比べ都市ガス(2040%)の使用量増加があった。一方で既存店での省エネ対策として、省エネ機器導入や節電対策を全店で取組んだ結果、全体の電気使用量を昨年並みに抑制、LPガス(77.2%)は削減に繋がった。省エネ対策について、ハード面では基本照明や外灯照明のLED化、冷ケース棚照明LED化や冷媒ガス入替、空調更新を実施。ソフト面では空調設定温度(夏場26~28℃)の徹底と冷ケース負荷低減を目的にナイトカバー未設置箇所へ保冷シート活用や、定期的なハニカム・フィルター清掃実施、冷蔵ケースの設定温度見直し、ロードラインオーバーの是正に取組んだ。その結果、温室効果ガス排出量を前年に比べて54 t Co₂(前年比99.9%)削減に繋がった。

【推進体制】

ISO14001の取り組みを中心に従業員への教育を進める。特に電気使用量削減に対する取組では、店舗ごとに目標設定と進捗管理を実施し、後方へ実績掲示し「見える化」を実施し、従業員の意識を高める体制を構築する。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全店 65店舗	(令和4年度実施分) 温室効果ガス排出量抑制に向け、全店65店舗で電気使用量の削減に取組み、冷蔵・冷凍ケースの定期的なハニカム・フィルター清掃実施、冷蔵・冷凍ケースの適正温度へ設定温度見直し、冷ケース(飲料・リカーコーナー)の一部消灯・一部非冷化、売場空調の設定温度26～28℃の徹底、事務所や休憩室不在時の消灯・空調電源OFF、売場スポット照明のまびき、事務所や休憩室など天井照明のまびき、冷ケース吸い込み口の清掃とロードラインオーバーの是正、閉店後冷ケースナイトカバー設置や保冷シート設置による保冷効果を高める事での節電など、主にソフト面での電気使用量削減に取組んだ。 (今後実施予定分) 冷蔵ケースへ高性能ナイトカバー導入65店舗(令和5年4月～7月)
ハード面での対策を予定する一部店舗対象	(今後実施予定分) 温室効果ガス排出削減にむけ、今後のハード面での対策について、冷ケース棚照明のLED化14店舗(令和5年4月～7月)、基本照明LED化42店舗(令和5年4月～令和6年1月)、外灯照明LED化37店舗(令和5年3月～7月)、冷媒ガス入替1店舗(令和5年10月)、空調更新1店舗(令和5年6月)の対策を順次進めている。また、創エネの取組として太陽光発電を順次進めて行く予定であり令和5年度秋以降に導入店舗を増やしていく予定。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	太陽光発電2店舗導入済み。マルナカ新倉敷店【導入：令和3年7月 年間発電量：403千kWh 年間Co2削減量213t-Co2】、マルナカ中島店【導入令和3年7月 年間発電量：554千kWh 年間Co2削減量293t-Co2】
その他	有	まんのう公文店(香川県)【導入：令和5年2月 年間発電見込量：468千kWh 年間Co2削減量226.5t-Co2】

【その他特記事項】

・クールビズ、ウォームビズの実施